

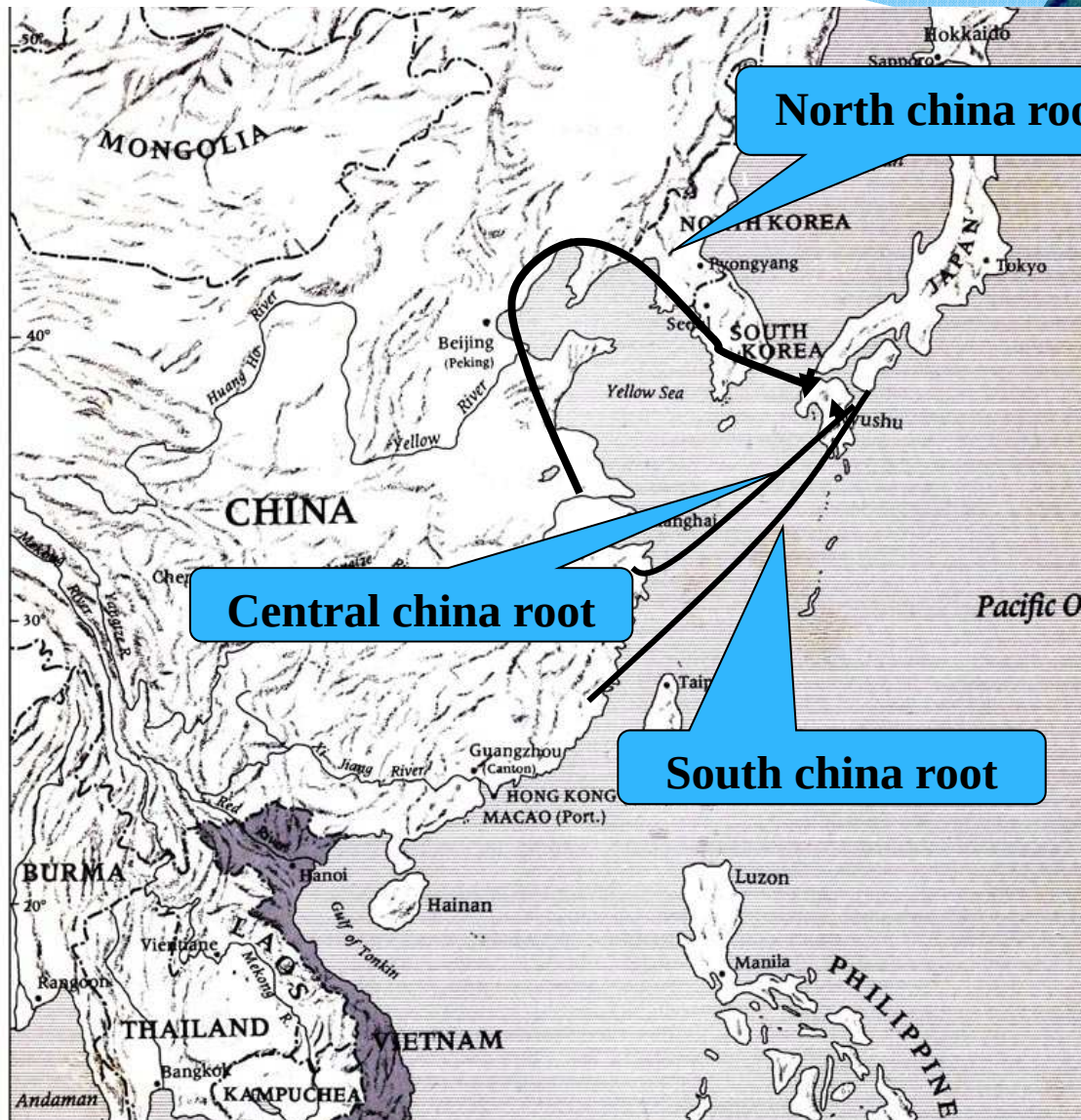
A scenic landscape featuring a vast tea plantation in the foreground, with rows of green tea bushes sloping down a hill. In the background, a range of mountains is visible under a soft, hazy sky, with Mount Fuji being the most prominent peak. The overall atmosphere is peaceful and natural.

静岡県・浙江省茶文化交流会

**静岡県の
～茶産業と文化～**

**静岡県立大学茶学総合研究センター
中村順行**

日本への茶の伝来



北中国・韓国ルート

奈良平安時代(A.D.700頃) 最澄

中中国ルート

固形茶、粉末茶の伝来 ⇒ 抹茶
(A.D.1100頃) 栄西禅師

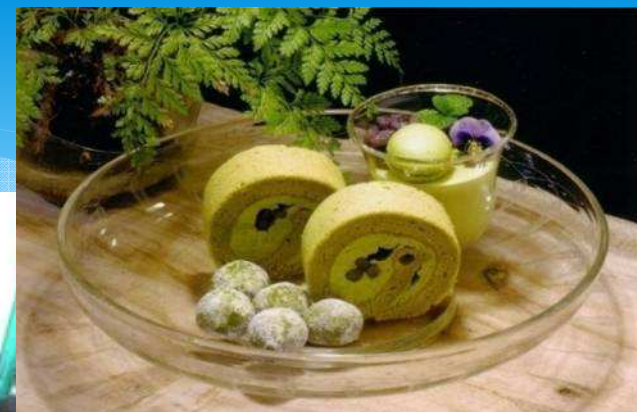
南中国ルート

淹茶の伝来 ⇒ 煎茶
(A.D.1600頃) 隠元禅師

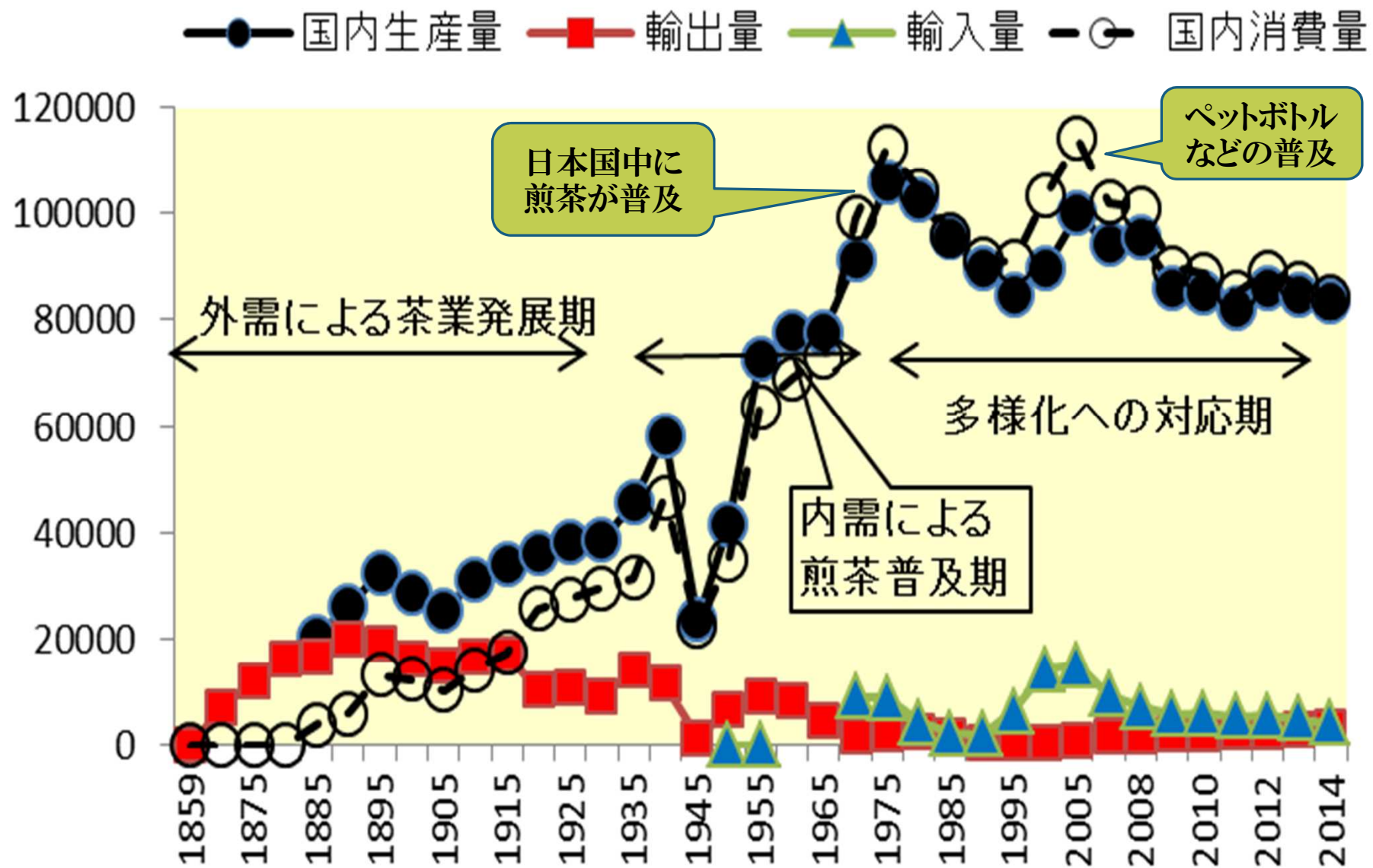
茶の湯(茶道)の成立



抹茶の多用途利用



緑茶の生産量・消費量などの推移



緑茶生産方法の推移



手摘み



可搬型摘採機



乗用型摘採機



手揉み



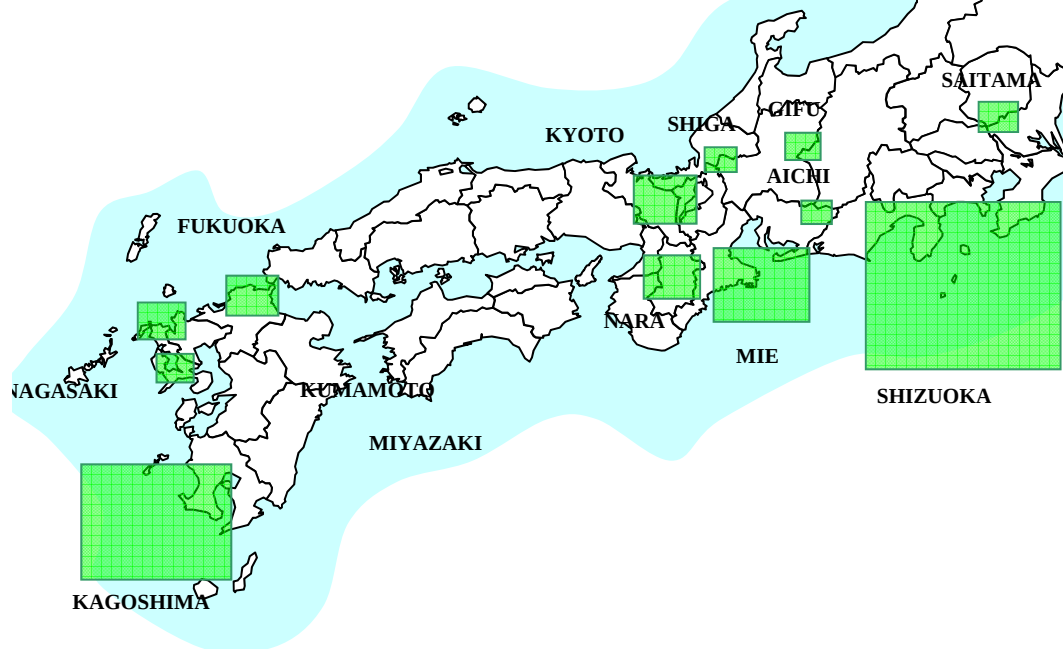
機械揉み



FA対応機械揉み

摘採は手摘みから機械摘みに変わり、著しく摘採能率を向上してきた。製造は手揉みから機械化され、徐々に投入量を増加させるとともに最近ではコンピュータ制御による自動化に技術革新したことで、日本独自の生産加工技術確立し、品質の高位平準化に貢献してきた

A photograph of a person wearing a white protective suit and a hood, operating a red and white OM-25 agricultural machine in a field. The machine has a large white vertical pipe on the right side. The background shows a clear blue sky and power lines. The image is framed with rounded corners.



県 名	面積 (ha)	生産量 (1000t)
静岡県	17,100	30,800
鹿児島県	8,430	26,600
三重県	2,950	6,130
熊本県	1,300	1,290
京都府	1,570	3,160
福岡県	1,550	1,920
宮崎県	1,410	3,770
埼玉県	871	698
佐賀県	841	1,170
その他	7,378	4,262
合 計	42,400	78,800

静岡県内に集積する茶関連業界

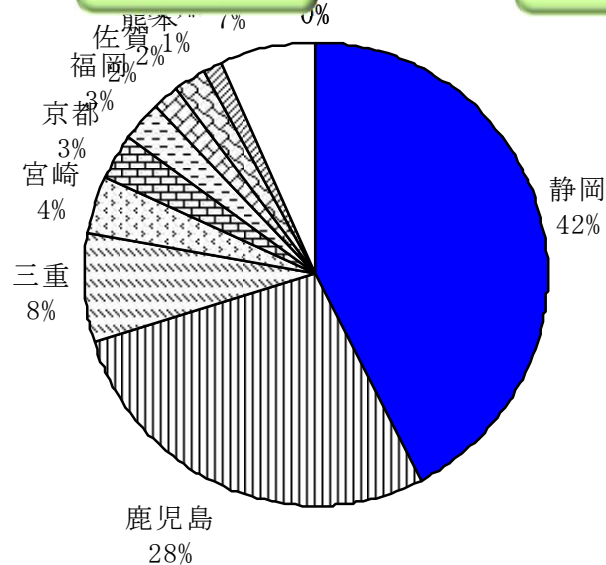


茶栽培

茶加工

飲料製造

販売



清涼飲料製造業
3,300億円 14.5%

製茶業
1,900億円 8.2%

製造品出荷額内訳

第2次産業：
OEM企業等

第3次産業：
販売店

エスエスケイフーズ(株)(サッポロ飲料)
(株)ニッセー(キリン・ダイドー他)
(株)ホテイフーズ(伊藤園)
静岡ジェイエフフーズ(株)(ダイドー) etc

荒茶生産量: 全国シェア42%
製茶機械: 全国シェア90%
製茶取引量: 全国シェア60%

国内茶系飲料の1/3を
静岡県内で製造

静岡県内の主要茶産地

① せいえん ちく
西遠地区



② ちゅうえんちゃさんち
中遠茶産地



③ まきのほら ちゃさんち
牧之原茶産地

④ かわね ちゃさんち
川根茶産地

⑤ した ちゃさんち
志太茶産地



⑥ ほんやまちゃさんち
本山茶産地

⑦ しづ ちゃさんち
清水茶産地

⑧ ふじ ぬまづ ちゃさんち
富士・沼津茶産地

茶栽培の年間スケジュール

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

施肥時期

春肥

芽出し肥

夏肥 I

夏肥 II

苦土
石灰

秋肥

新芽の生育

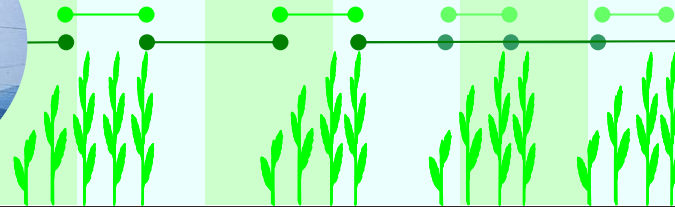
一番茶

二番茶

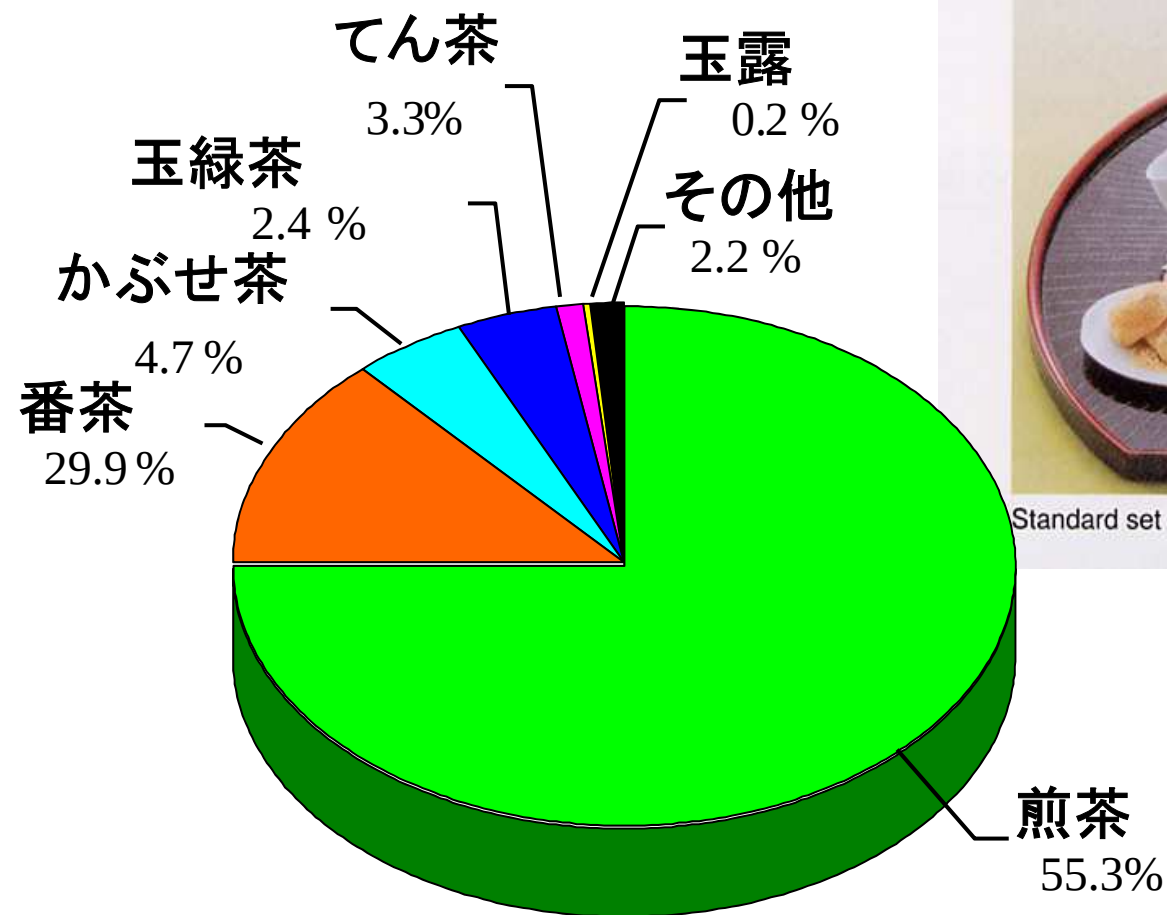
三番茶

四番茶

秋整枝



日本茶の種類別生産量比率

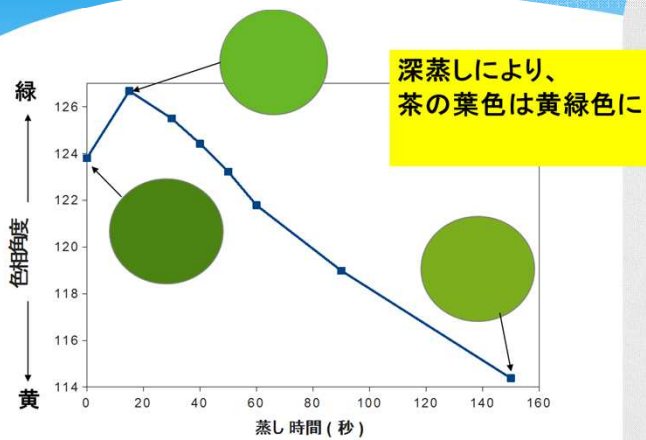


Standard set of Japanese green tea.



日本における種類別茶種の比率 (2017)

日本茶の特質は



大森ら、1986

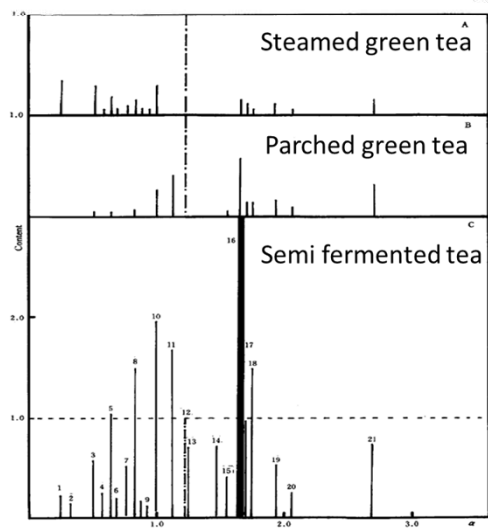
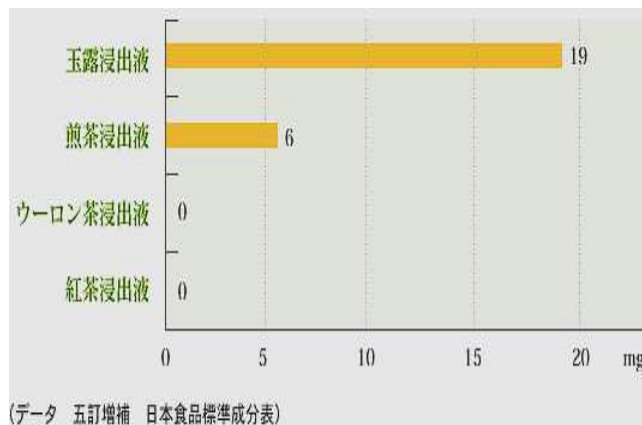


Fig.4. Gaschromatograms of steamed green tea, parched green tea and semifermented tea made from fresh leaves plucked on the same day. (Tadakazu TAKEO etc. 1985)



世界の茶のなかでの 日本茶の特質は!!

- ・浸出液が緑色であること
- ・蒸熱処理のため、浸出液中に成分が溶出しやすいこと
- ・旨味のアミノ酸含量が高く、カテキン類の濃度が低いこと
- ・香りに若葉の新鮮香があること
- ・針状のお茶であること
- ・ビタミンCを多く含むこと
- ・歴史、文化性が高いこと



(データ 五訂増補 日本食品標準成分表)

健康寿命の延伸には

健康長寿の理由

- ・地場の食材が豊富で食生活が豊か
- ・日ごろからたくさんお茶を飲む
- ・元気に働いている高齢者が多い
- ・温暖な気候からくる穏やかな県民性

山は富士

お茶と食材 日本一

いきいき長寿の
ふじのくに!!



ちゃっぴー(®)静岡県
生きがいと健康づくりの
イメージキャラクター

写真提供 静岡県観光協会

☆お達者度が長い市町の特徴は、運動習慣がある人、大豆製品を食べる人、緑茶を飲む人が多く、喫煙経験がある人や肥満に該当する人が少ない。

☆世代間の交流が多く、二世帯以上の人が多い

☆「運動」「食生活」「社会参加」が長生きにつながると考えらる。
また、「緑茶」をよく飲む人ほど、長生き。

茶の関連施設

茶の都ミュージアム



フォーレなかかわね
茶茗館



玉露の里



もみじ亭（駿府城公園紅葉山庭園）

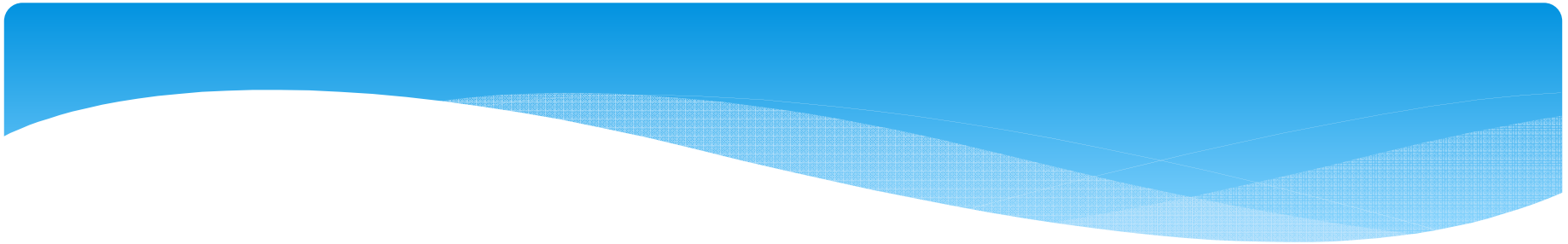
浜松市茶室
「松韻亭」



香りの丘茶ピア



静岡の旅をお楽しみに



日本の代表的な茶園風景



一般的な茶園
(可搬型摘採機用茶園)



積雪下の茶園(秋田県)



乗用型摘採機用茶園



覆下茶園(玉露栽培)



直接被覆下茶園

主要茶産地における農業生産収入に占める茶業の比率

平成5年		平成26年	
静岡市	46.3	静岡市	12.8
清水市	32.0		
蒲原町	0.0		
由比町	1.8		
浜松市	3.0	浜松市	1.4
天竜市	46.8		
浜北市	2.1		
龍山村	78.5		
佐久間町	59.8		
水窪町	44.3		
舞阪町	0.0		
雄踏町	0.0		
細江町	3.8		
引佐町	2.3		
三ヶ日町	0.0		
春野町	25.3		

平成5年		平成26年	
沼津市	23.3		12.7
富士宮市	5.6	富士宮市	1.6
芝川町	10.1		
富士市	38.9	富士市	19.1
富士川町	7.2		
藤枝市	42.6	藤枝市	13.0
岡部町	51.0		
菊川町	68.6	菊川市	37.7
小笠町	37.3		
掛川市	58.8	掛川市	18.6
大東町	24.0		
大須賀町	16.7		

平成5年		平成26年	
相良町	70.1	牧之原市	35.9
榛原町	73.3		
島田市	59.0	島田市	42.4
金谷町	83.5		
川根町	90.0		
中川根町	92.1	川根本町	57.6
本川根町	88.5		
磐田市	27.1	磐田市	14.4
竜洋町	0.1		
豊田町	9.5		
豊岡村	5.9		
福田町	0.0		
袋井市	26.6	袋井市	11.1
浅羽町	6.9		

日本茶の種類



日本茶の種類



針状のお茶であること

蒸して細く燃れるお茶
は日本茶しかない



緑茶消費方法の推移

現在の生活の中では
お茶を飲む風景も激変しています
⇒ **生産されるお茶も変わります**



番茶



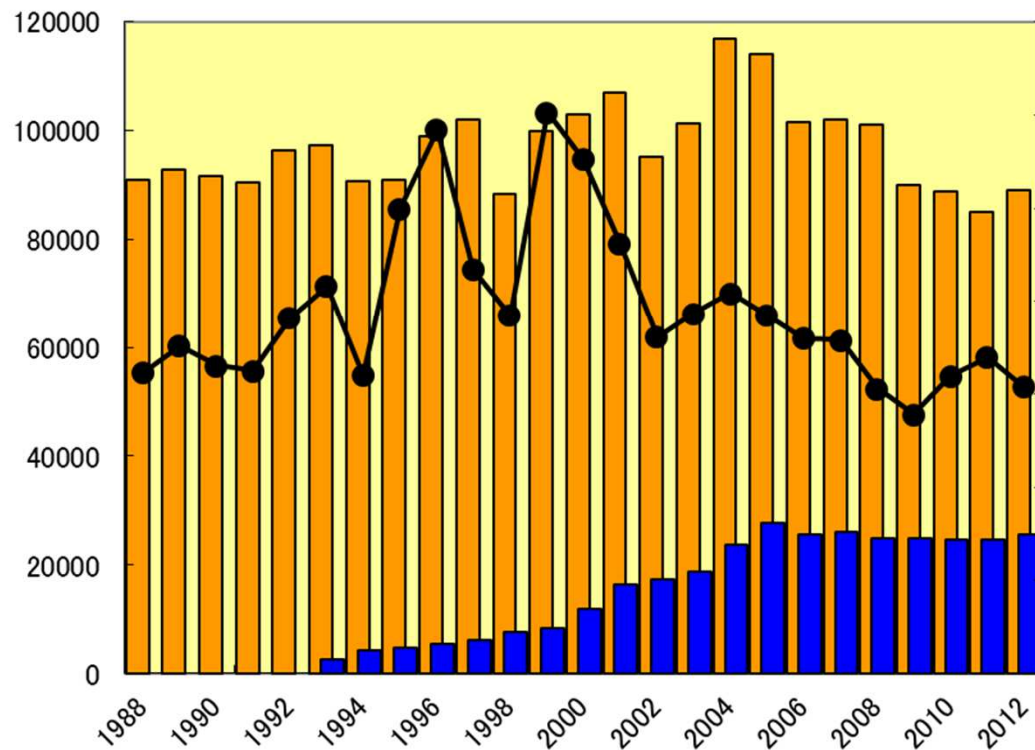
せん茶



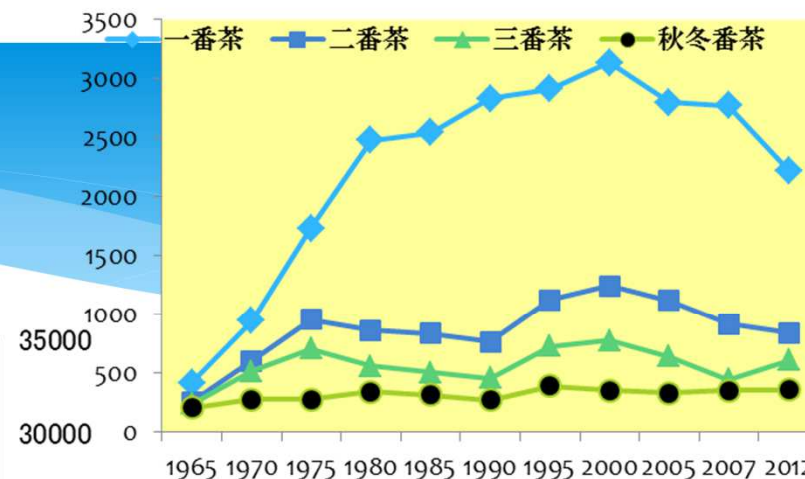
茶素材

最近の日本茶業は

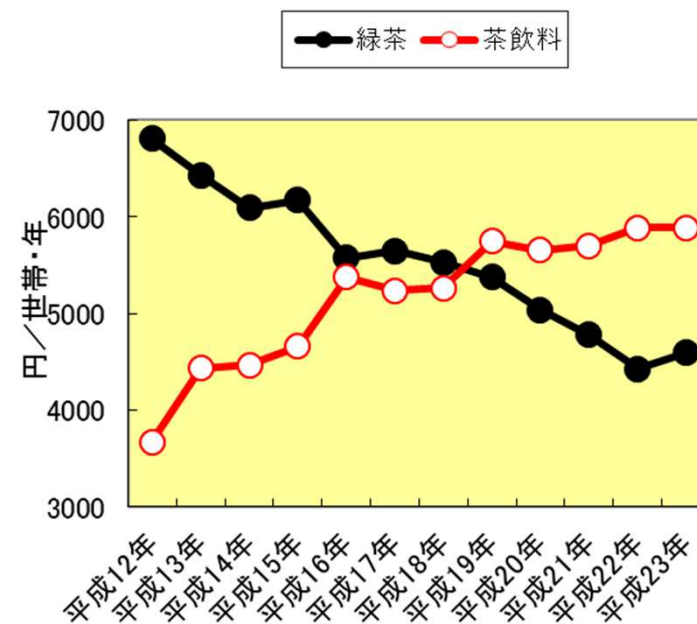
国内消費量 RTD使用原料 生産者価格



国内消費量と生産者価格の推移



各茶期ごとの価格

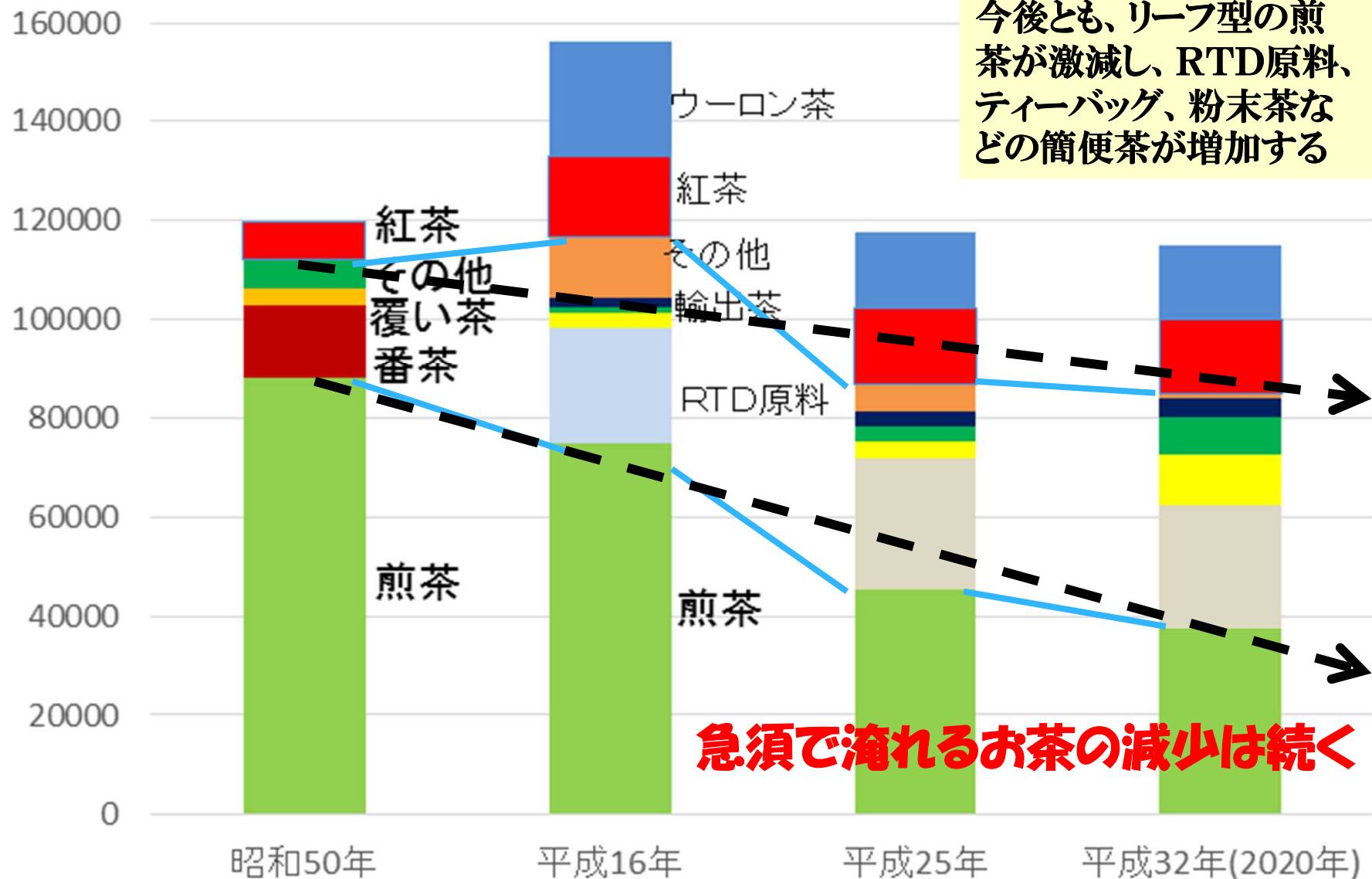


緑茶と茶飲料の購入金額の推移

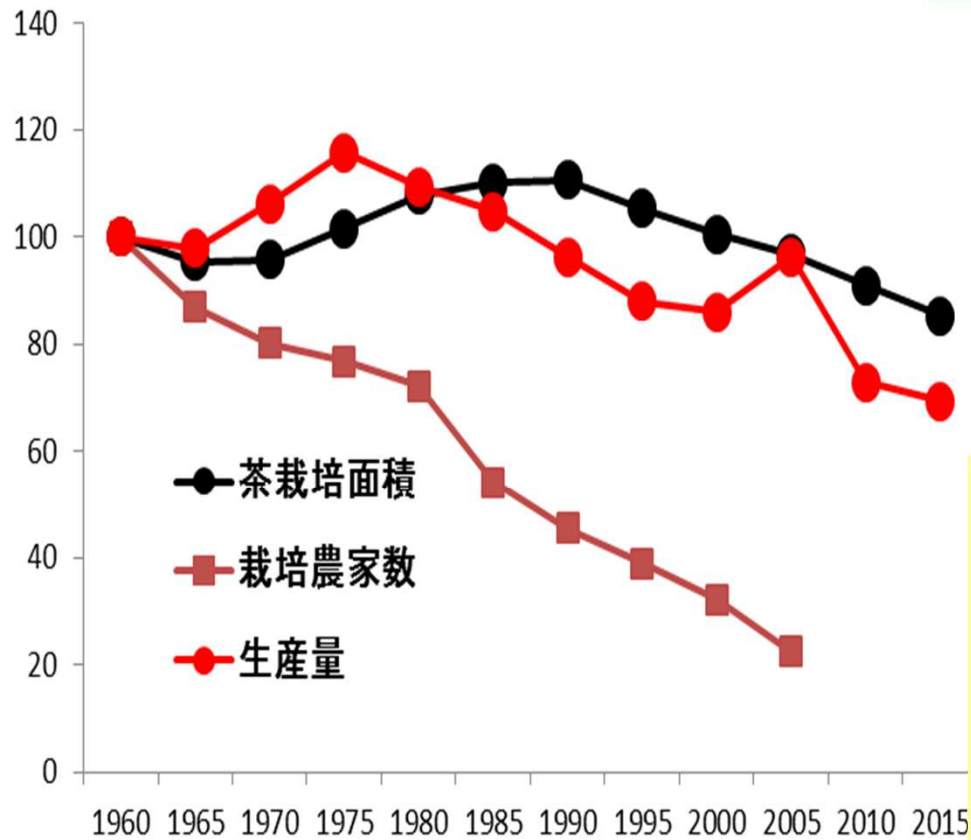
国内消費量は伸び悩み、価格の低下(特に一番茶)が著しい

茶類の消費量の推移は

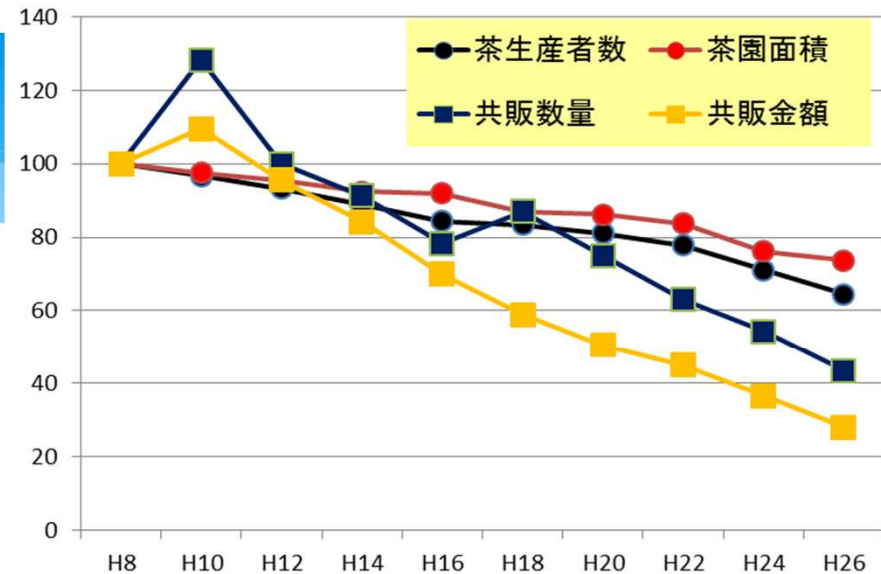
平成16年がRTDの急激な増加などにより消費量のピーク。



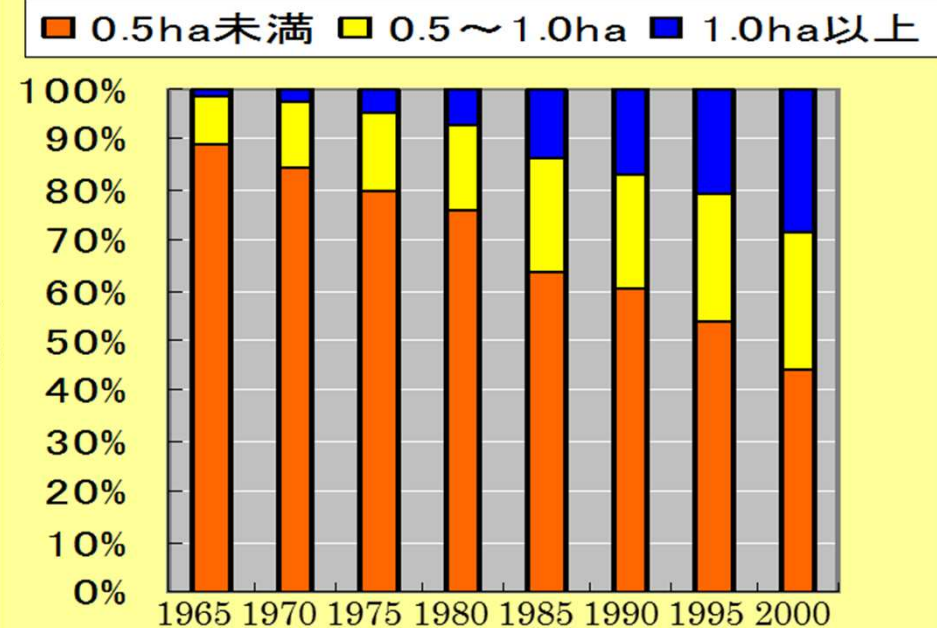
緑茶の生産実態の推移



県内の茶栽培面積・農家数・生産量の推移



JA静岡管内の推移



栽培農家の規模の推移

茶の主要な飲用方法の推移

限界を知ること

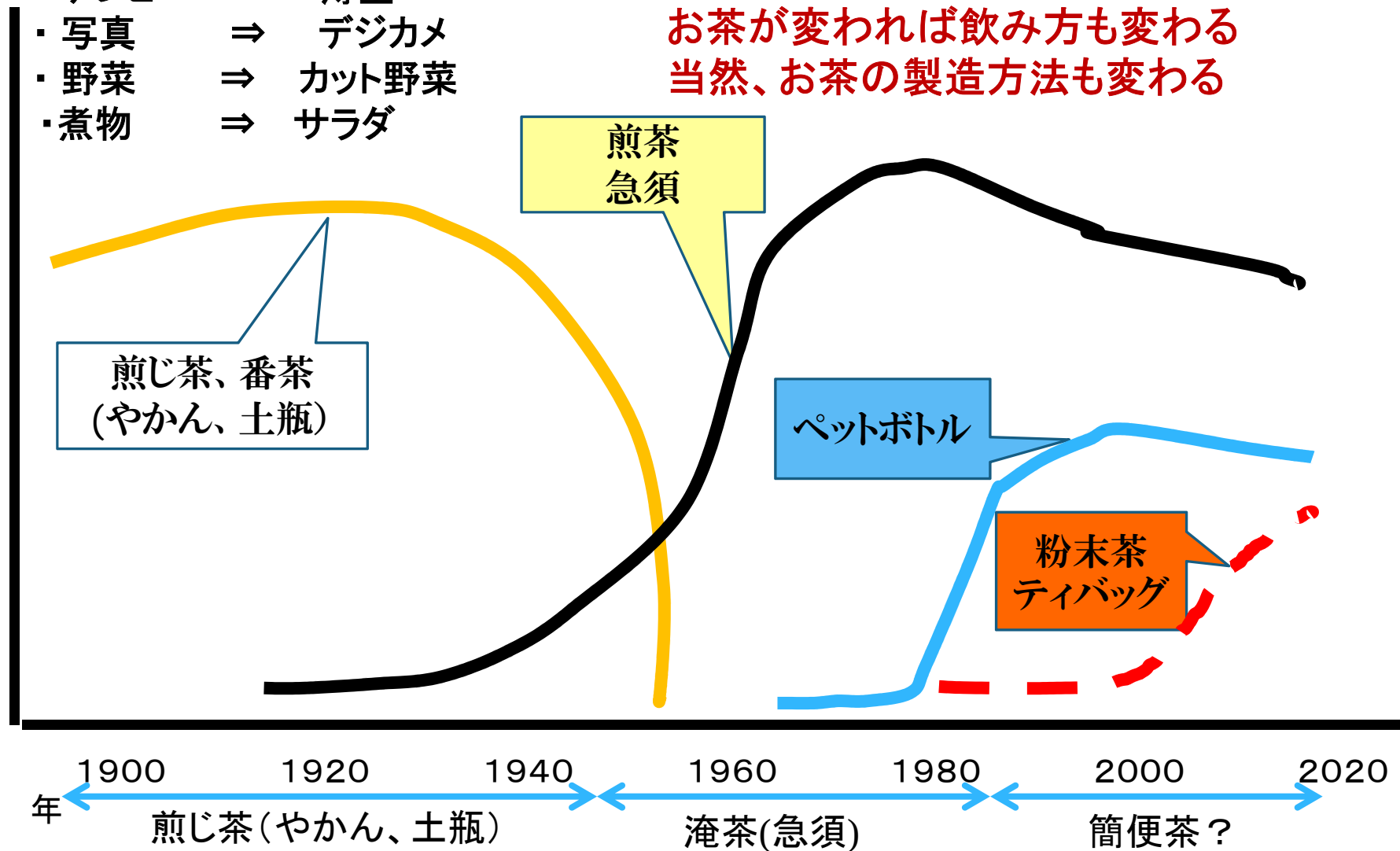
☆限界の規定要因は?!

☆未来の予測

例

- ・ 電話 ⇒ 携帯
- ・ テレビ ⇒ 薄型
- ・ 写真 ⇒ デジカメ
- ・ 野菜 ⇒ カット野菜
- ・ 煮物 ⇒ サラダ

お茶が変われば飲み方も変わる
当然、お茶の製造方法も変わる



静岡県茶業の現状と課題



- ① **茶の消費構造の変化**
⇒ **さまざまな茶の提案・消費拡大が必要**
- ② **茶価の低迷**
⇒ **需給の歪みの解消、市場形成能の確立**
- ③ **生産量の減少**
⇒ **優良農地の確保、担い手の養成**
- ④ **やぶきた一辺倒**
⇒ **改植事業の利用、多彩な茶種の形成**
- ⑤ **国内人口の減少**
⇒ **海外輸出の推進**
- ⑥ **輸出(インバウンド含)の増大**
⇒ **輸出対応型茶の生産方式の確立**



主要な推進事項(静岡県)



① 新たな需要創出と消費拡大

- a. 新たな需要を喚起する静岡茶の開発
- b. 多彩な魅力を持つ静岡茶の生産と販売戦略
- c. 生産と商工が連携した販売と流通の体制強化

② 未来を担う茶業経営体の育成

- a. 地域の核となるビジネス茶業経営体の育成
- b. 生産効率・収益性の高い生産基盤づくり
- c. 産地を維持する持続的茶業の推進

③ 魅力あふれる茶文化の創造と世界への発信

- a. 新しい茶文化の提案と発信
- b. ふじのくに「茶の都しずおか」の魅力発信

新たな需要創出

～新しい香味発揚茶の開発～



富士山頂熟成茶



峰の十字星



黄金みどり

食品の分類(HPより引用)

一般食品

※機能性の表示ができない

栄養補助食品、健康補助食品、栄養調整食品といった表示で販売されている食品は一般食品です。

特定保健用食品



保健機能食品

※機能性の表示ができる

栄養機能食品

機能性表示食品

食品

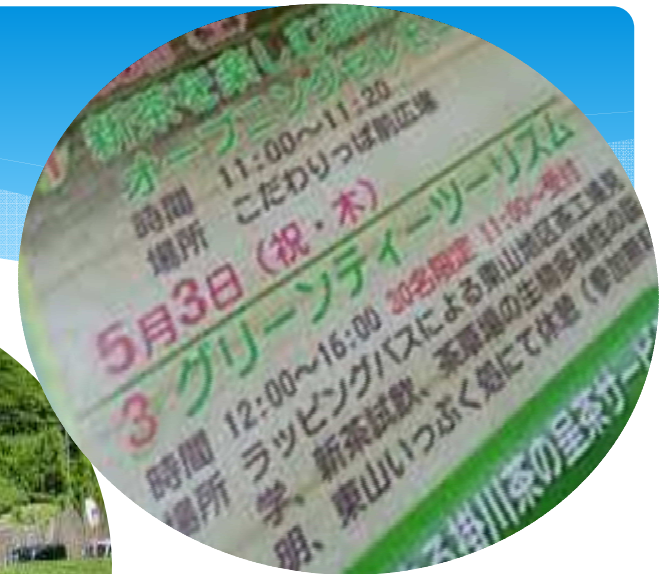
医薬品

医薬部外品



茶文化の発信

～グリーンティーリズム等による実体験～



お茶のもつ魅力を活かして地域茶業の活性化を

単純な農産物原料供給産業からの脱却

⇒ 六次産業化、観光業化、地域全体の売り込みを

差別化戦略として地域資源を活用することが重要

①自然環境、地形、風土

富士山、山間地、川、茶草場、急傾斜地など

②歴史・文化

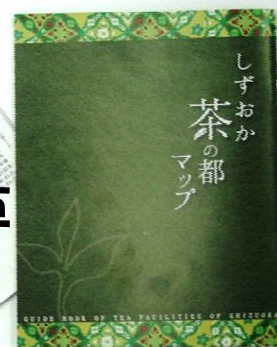
徳川400年、聖一国師、牧の原開拓、清水港など

③生産加工方法

品種、栽培方法、加工方法など

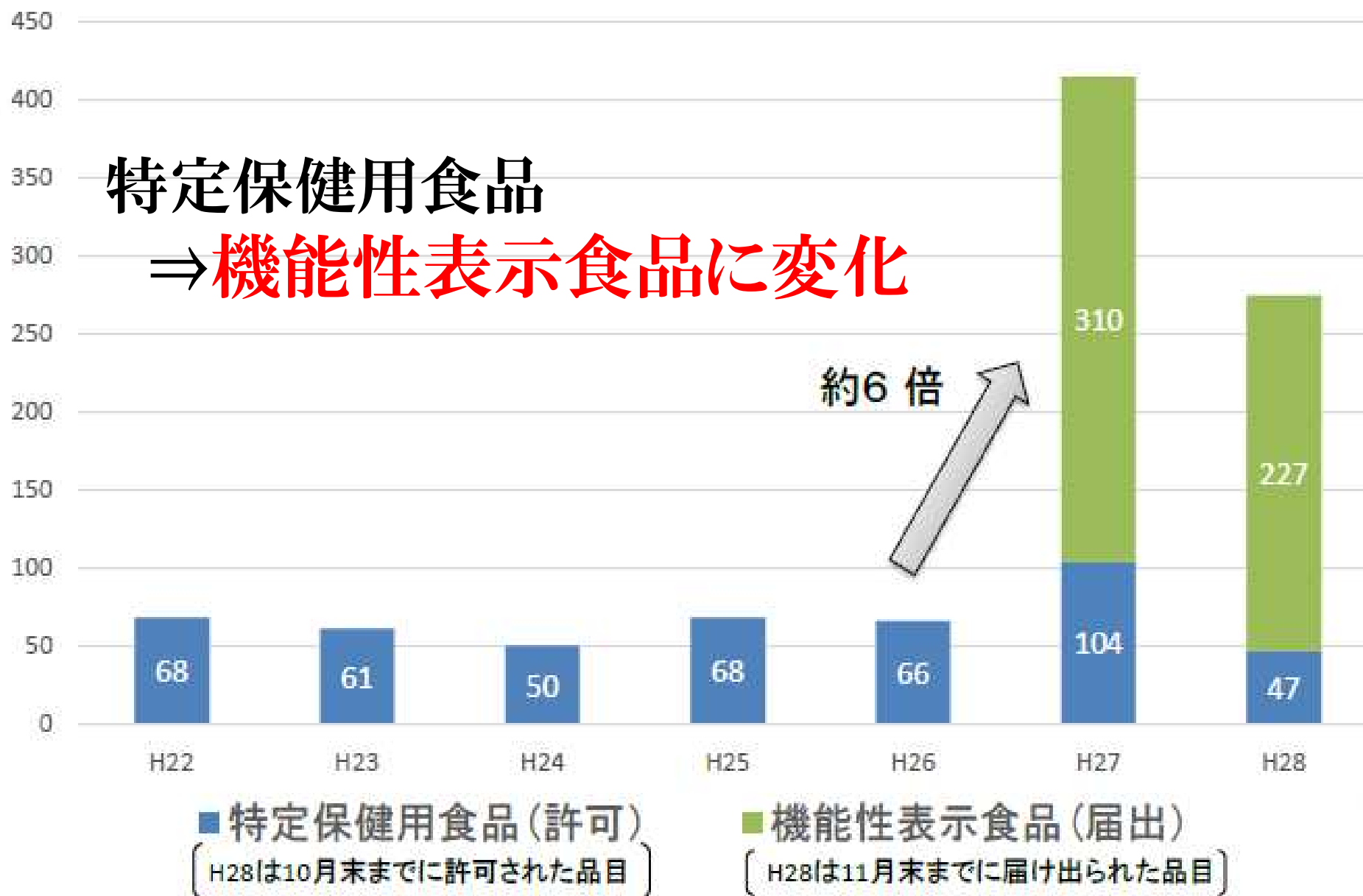
④他業態との連携、情報の発信

**茶を利活用した
地域ブランドの強化**



機能性表示が可能とされた食品数

特定保健用食品
⇒ 機能性表示食品に変化



L-テアニン



テアニンの働きで健やかな
眠りをサポートするむぎ茶
麦茶(インスタント麦茶)
SR(成分)L-テアニン200mg
夜間の健やかな眠りをサ
ポート



熟すやナイト
食品(サプリメント形状)
SR(成分)L-テアニン200mg
1日4粒を目安に、少しずつ水など
でお飲みください。
朝目覚めたときの疲労感を軽減す
る,一過性の作業などによる精神的
なストレス感をやわらげる

ガレート型カテキン、EGCG

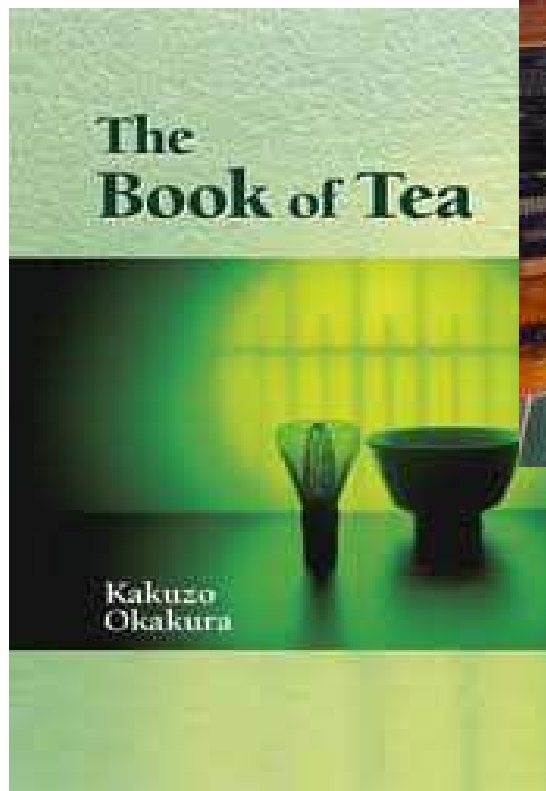


まるごと健康粉末茶 濃いみどり
加工食品(その他)緑茶(粉末茶)
SR(成分)ガレート型カテキン
394mg※ ※スティック2本を
600mlの熱湯で1分間抽出した際
の分析値 2本
体脂肪を減らす機能や、LDLコレ
ステロールを減らす機能



サンフェノンEGCgカプセル
加工食品(サプリメント形状) サン
フェノンEGCg カプセル
SR(成分)(EGCg) 300mg
エネルギーとして脂肪を消費しや
すくする

日本茶の文化性の高さ



*「一碗からピースフルネスを」をテーマに15世千宗室(鵬雲斎玄室大宗匠)が平和の尊さを茶道の精神をもって訴える活動をハワイを皮切りに世界中で行い、茶道は日本文化を代表するものになった。

岡倉天心